

第8回

広島保健福祉学会 学術大会

～ ヒューマン・マシン・システムを考える ～

大会長 大塚彰（県立広島大学保健福祉学部教授）

どなたでも
ご参加いた
だけます！



日時 平成19年12月8日（土）13:00～17:00

場所 県立広島大学三原キャンパス1号館1階大講義室

（〒723-0053 広島県三原市学園町1-1）



昨今、私どもの生活の中に各種の要素を持つロボットの存在があります。その中で、ヒトとロボットとの関係も複雑になってきているように思います。元来、ヒトと道具の関係はユニバーサルな関係とされてきました。すなわち、道具は、安全で・誰でもが使えて・長持ちするものでした。今、ヒトは道具を使い、道具はヒトを助けるという、本来の関係を再度、見直してみることも意義があるのではないかと考えています。

どなたでもご参加いただけますので、これを機会に、人間と機械との関係について興味を持っていただければと思っております。多くの方のご参加をお待ちしております。

プログラム

◆特別講演 13:05～14:35

生体信号でロボットを自在に操る 一人間とロボットの共存を目指してー

広島大学大学院工学研究科複雑システム工学教授 辻 敏夫

◆パネルディスカッション 14:50～17:00

バーチャルトレーニングシステム

県立広島大学保健福祉学部理学療法学科准教授 田中 聡

ヒトと道具としての義手・義足・福祉用具

県立広島大学保健福祉学部理学療法学科教授 大塚 彰

整形外科と人工運動器官

県立広島大学保健福祉学部理学療法学科教授 沖 貞明

工学と人工内臓器官（人工心臓）

広島大学大学院工学研究科准教授 柴 建次

◆研究パネル展示会 終日

本キャンパス所属教員による、平成18年度重点研究をはじめとした研究成果のポスター展示を会場入り口にて行っております。ご自由にご覧ください。

【関連講演会】 義手を語る会 in MIHARA(2nd) 電動義手の発展を願って

日時 平成19年12月7日（金）13:00～17:00, 8日（土）09:00～11:30

場所 県立広島大学三原キャンパス1号館1階大講義室

内容 兵庫県立総合リハビリテーションセンター整形外科の陳隆明先生による特別講演「電動義手を本当に使ってもらうためには？」の他、実技講座「電動義手の装着訓練の実際」や一般講演も予定しております。

お問い合わせ・お申し込み先

県立広島大学三原キャンパス・三原地域連携センター

お名前、ご職業、連絡先を明記の上、電話、FAX、E-mailいずれかの方法でお申込ください。

TEL: 0848-60-1120(代) FAX: 0848-60-1134 E-mail: mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp